

CHIKUZEN-YAMATE in 1998



# 筑前山手

ちくぜんやまて駅  
福岡県糟屋郡篠栗町  
昭和43年開業



## 階段塔にご利益を

まだ視界の開けない山道を取り巻くように、桁の高い支柱がドミノのごとく並ぶ。その途中で、はるか頭上の高架線にホームを構える、タワーのような駅舎が姿を現す。正確には駅舎ではない、ただの階段塔だが、これが筑前山手駅の全容だ。

階段塔の駅といえ、三江線の宇都井駅（島根県）が有名で、筑前山手駅よりももつと高さがある。どちらにも、現代のバリアフリー志向には全く適応しておらず、それだけ利用頻度の低い無人駅であることに変わりはない。もつとも、筑前

山手は篠栗霊場のど真ん中。周囲に民家は少なく、健脚なお  
遍路さんでもなければ、利用しない道理だろう。

しかし、都市部を中心に整備が進んでいるバリアフリー構  
造も、一概によい面ばかりとはいえない。エレベーターもエ  
スカレーターも、本来の恩恵の対象でない人々が我が物顔に  
占領して、かえって運動不足を煽る装置と化している向きも  
ある。階段の昇降を一つの苦行としている寺社もあるわけで、  
その点、筑前山手のような駅は、むしろ霊験あらたかな地の  
玄関として、ふさわしい存在かもしれない。このユニークな  
構造を前面に立て、駅の利用にご利益まで授けてもよいので  
はないだろうか。